

## 資料紹介

- ◆「子どもたちの権利が守られる学級憲章(学級目標)づくり」にご活用いただける「子どもの権利条約」第1～40条カードおよび一覧表 以下よりダウンロードしてください。

### 「子どもの権利条約」条文カード

[https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/cardbook\\_print.pdf](https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/cardbook_print.pdf)



PDF

「子どもの権利条約カードブック」(B5冊子)もご活用ください。

### 学習資料「子どもの権利条約」

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/CRCshouyaku/picture.pdf>



PDF

A3 両面(2つ折り)の紙資料もごございます。(無料)

- ◆「子どもの権利条約」および「子どもの権利を大切にできる教育(CRE)」に関する参考資料



### 子どもの権利条約カードブック

「子どもの権利条約」の第1～40条をわかりやすく要約したイラスト付きのカードブックです。カードを使って取り組める、さまざまなアクティビティもご紹介します。

(B5冊子/30ページ 1冊目無料/2冊目から60円)



PDF



### CRE 先生のための実践ガイド

子どもの権利が守られた学校・園づくりの活動のヒントや、SDGsを「子どもの権利」の視点から考える学習など、具体的な提案をコンパクトに掲載した実用的なガイドです。

(A4巻き折り/6ページ 無料)



PDF



### 先生向けユニセフCREハンドブック

「子どもの権利条約」およびCREを理解する上での大切なポイントをはじめ、学校・園で活用いただける実践のヒントなどを、先生向けにご紹介しています。

(A4冊子/14ページ 無料)



PDF



### 先生向けユニセフCRE実践記録

西東京市立保谷小学校にて実践いただいた「子どもたちの権利が守られる学級目標づくり」の活動の様子を、写真や子どもたちの声も交えてご紹介しています。

(A4冊子/10ページ 無料)



PDF

※紙資料(冊子)をご希望の場合は、メールまたはホームページからご請求ください。

- ◆「子どもの権利」およびCRE関連ウェブサイト



### 「子どもの権利条約」特設サイト

<https://www.unicef.or.jp/crc/>



### 「子どもの権利」子ども向け学習サイト

<https://www.unicef.or.jp/crc/kodomo/>



### CREウェブサイト

子どもの権利が守られた学校・園づくり

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/>



# 授業プラン

子どもの権利が守られた学級づくり

## 「私たちの学級憲章」を

つくってみよう!



「Child Rights Education (CRE) : 子どもの権利を大切にできる教育」の具体的な取り組みとして、ユニセフが提案している「子どもたちの権利が守られる学級憲章(学級目標)づくり」。

この取り組みでは、人権や「子どもの権利条約」の学びを通して、一人ひとりの権利が大切にされる学級をつくるために、自分たちにできることは何か、また権利を尊重するというとはどのようなことかを考えながら、「学級憲章(学級目標)」としてまとめていきます。子どもたちが主体的に考え行動する力を養うとともに、自分だけでなく他者の権利にも目を向ける機会となります。

ぜひ、新年度のはじめに、「子どもの権利」の視点を取り入れた学級目標づくりに取り組んでみませんか？実際にこの活動に取り組まれた西東京市立保谷小学校での実践記録も公開していますので、この授業プランと合わせてご活用ください。

活動事例や作成された学級目標、また授業をされてのご感想(よかったこと、課題点など)をお寄せください!

お問い合わせ、活動のご報告などの送り先 | 公益財団法人 日本ユニセフ協会 〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス  
TEL: 03-5789-2014 Eメール: [se-jcu@unicef.or.jp](mailto:se-jcu@unicef.or.jp) ホームページ: [www.unicef.or.jp](http://www.unicef.or.jp)



保谷小学校での実践記録はこちらから↓

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/>

## 1 時間目 「子どもの権利」について知る

◆実践記録 参考ページ



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session1/>

ねらい 学級の生活で、守られていると思う権利や守られていないと思う権利について話し合うことを通して、子どもの権利について知る。

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
10分	<p><b>子どもの権利について知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権」や「権利」という言葉から思いつくことを考える。 (例) 平等・大切なこと・生命…</li> <li>・「子どもの権利」として必要なことを考える。 (例) 食べ物・お金・病院・愛・友だち・先生…</li> <li>・「子どもの権利条約」について知る。</li> </ul> <p><b>知識</b> ・生きていくために必要な衣食住、学ぶことや遊ぶこと、意見や思いを聞いてもらえることなど、自分らしく生きるためには大切なことがいろいろある。 ・子どもたちが人間らしく、幸せに生きられ、健やかに成長していくために必要なものやことを「子どもの権利」という。 ・それらは「子どもの権利条約」という国際的な約束で、守られるべきものとして決められている。</p> <p>・一人ひとりがもっている権利であることを知る。</p> <p><b>知識</b> ・日本もこの条約に1994年に入った(守ることを約束した)。 ・条約に書かれている権利は、一人ひとりが生まれながらにもっている大切なもので、誰も奪い取ることはできない。条件付きで与えられるものでもない。</p>	<p>◎用意するもの：「子どもの権利条約」条文カード(黒板掲示用・児童生徒の手元用)／画用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの意見を聞いた後、「人権」について説明する。</li> <li>・自分たちが元気に育つために必要なことが「子どもの権利」で、大切な人権であることを伝える。</li> <li>・「子どもの権利条約」について伝える。</li> </ul> <p>◎参考：「子どもの権利条約」特設サイト(後掲)</p>
30分(35分)	<p><b>学級の生活で守られていると思う権利と守られていないと思う権利について話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの権利条約」の条文カードまたは一覧表を見ながら、条約にはどんなことが書いてあるか、それぞれ読んでみる。</li> <li>・大切に思う権利を話し合ってみて、学級で共有する。 (例) 6条：生きる権利・育つ権利 31条：休み、遊ぶ権利 2条：差別の禁止 28条：教育を受ける権利…</li> <li>・学級の生活の中で守られていると思う権利と、守られていないと思う権利、またその理由を考え、画用紙にまとめる。 (例) 言いたいことはきちんと言うことができる。 人と違う意見を言っても差別されない。 騒がしいと勉強ができない。 友だちに合わせて意見を言えないことがある。 暴力をふるう人がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に「子どもの権利条約」の条文カードまたは一覧表を配布。◎ダウンロード(後掲)</li> <li>・可能であればA4判に印刷した条文カードを掲示。</li> </ul> <p><b>ヒント</b> すべての条文について学ぶのが難しければ、学校生活と関係の深い条文をあらかじめ選んでおいてもよい。◎参考：ユニセフCRE実践記録(後掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いのためのグループ(2～4人)を示す。</li> <li>・話し合いが進んでいないグループにはサポートに入る。</li> </ul> <p>・グループ毎に発表させる。(画用紙を掲示する。)</p> <p><b>留意点</b> 学級のことを越えて話し合ってもよいが、その場合、自分の経験を告白するような場面が出てくる可能性もある。無理に話さなくてもよいことを伝え、子どもたちのプライバシーに配慮する。</p>
5分	<p><b>学習をふりかえる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予告を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想カードを配布する。</li> </ul> <p><b>ヒント</b> 自分が子どもの権利をもつ存在と気づいてどう感じるか、級友も同じ権利をもつと知ってどう感じたか、などのことをあらかじめしっかりふりかえておくことも大切。</p>

( )は50分授業の場合

## 2 時間目 学級目標に取り上げたい大切な権利を選ぶ

◆実践記録 参考ページ



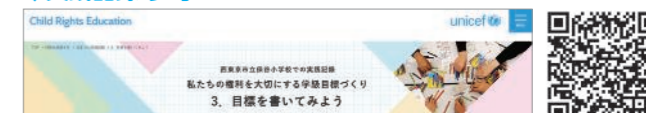
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session2/>

ねらい 自分たちの目指す学級像を描きながら、学級目標に取り上げたいと思う「子どもの権利条約」の条文を選ぶ。

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
10分	<p><b>前時の学習をふりかえり、本時のめあてを確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標に使う視点から条文を読む。</li> <li>・学級目標に使う理由を考える。</li> </ul>	<p>◎用意するもの：選んだ条文のカード／画用紙または模造紙／色ペン／のり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の画用紙を掲示し、ふりかえる。</li> <li>・A4判の条文カードを黒板に掲示し、前時に取り上げた条文を確認する。</li> <li>・意見を板書する。◎ダウンロード(後掲)</li> </ul>
30分(35分)	<p><b>学級目標に使う「子どもの権利条約」の条文を選ぶ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで日々の学級の生活をふりかえりながら、目指したいクラス像を描き、学級目標に取り上げたい条文を選ぶ。</li> <li>・取り上げたい理由を考える。</li> <li>・選んだ権利を守るにはどうしたらよいかを考える。</li> <li>・グループごとに話し合いの内容をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条文カードと画用紙(模造紙)や色ペンを、グループに配る。</li> <li>◎教材：子どもの権利条約カードブック</li> <li>・具体的な場面と結びつけて考えさせる。</li> <li>・話し合ったことを、画用紙(模造紙)にまとめさせる。</li> </ul> <p><b>留意点</b> 子どもたちが主体的に話し合うことが大切。それぞれのグループのペースや進め方を尊重しながら、必要に応じて話し合いをサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれた「子どもの権利」を確認する。</li> </ul>
5分	<p><b>学習をふりかえる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予告を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想カードを配布する。</li> </ul>

## 3 時間目 「子どもの権利」の学びを生かした学級目標を書く

◆実践記録 参考ページ



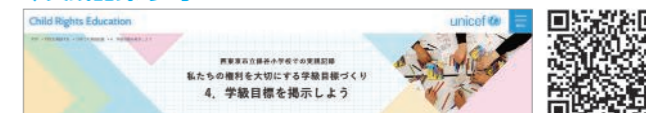
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session3/>

ねらい これまでの学習と話し合いをもとに、「子どもの権利条約」の条文をふりかえりながら、学級目標の言葉を考えて書く。

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
5分	<p><b>前時の学習をふりかえり、本時のめあてを確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標づくりに選んだ条文を学級で確認する。</li> </ul>	<p>◎用意するもの：選んだ条文のカード／話し合いをまとめた画用紙または模造紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標づくりに選んだ条文カードを黒板に掲示しておく。</li> </ul>
25分	<p><b>グループごとに発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに話し合った、条文を選んだ理由やその権利を守る方法を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の内容から、要点を板書する。</li> <li>・発表が終わったグループの画用紙(模造紙)を掲示しておく。</li> </ul>
15分(20分)	<p><b>学級目標を書く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員での話し合いを通して、黒板に書き出された言葉の中から、学級目標に入れる文言をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの主体的な話し合いを尊重しつつ、限られた時間でさまざまな意見を学級目標としてまとめるためのサポートをする。</li> </ul> <p><b>応用</b> 小学校高学年～中学校では、先生のサポートのもと、進行役の児童生徒が話し合いを進めてもよい。</p> <p><b>留意点</b> 「子どもの権利条約」をふりかえりながら、選んだ条文に沿うかたちで学級目標を考える。</p>

## 4 時間目 学級目標を掲示する

◆実践記録 参考ページ



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/output/>

ねらい 学級で工夫して学級目標を模造紙に描き、年間を通じて掲示する。

※授業プランは省略しています。  
※朝の会や帰りの会などを利用して、定期的に学級目標をふりかえることが大切です。